

第2580地区

東京セントラルパークロータリークラブ

The Rotary Club of Tokyo Central Park

Weekly Report

2018-2019年度 スローガン

「広げよう奉仕の輪、親睦・友情の輪」

第23回（通算1696回）2019年3月5日



本日の例会



- | | |
|---------------------|-----------------|
| 〈1〉 開会点鐘・会長挨拶 | 3月結婚記念日はございません |
| 〈2〉 国家斉唱「君が代」 | 〈7〉 出席状況報告 |
| 〈3〉 ロータリーソング「奉仕の理想」 | 〈8〉 メークアップ報告 |
| 〈4〉 ビジター紹介 | 〈9〉 委員会報告 |
| 〈5〉 幹事報告 | 〈10〉 ニコニコBOX 報告 |
| 〈6〉 3月誕生日祝い「誕生日の歌」 | 〈11〉 閉会点鐘 |

北條会員 1日 宮坂会員 5日
小林会員 9日 古川会員 14日
杉本会員 29日 川松夫人 19日



本日の卓話



本日の卓話 「仮想通貨マイニング事情による即時償却」

(株)ザナクシー 執行役員 はしもとこうだい 橋本広大様

次週の例会 〈3/12〉「JCNN 合同夜間例会」

◆◆◆ 先週の例会記録 ◆◆◆

2019年2月26日 第22回(通算1695回)
 開会点鐘 松林会長 B1「白鳳の間」
 ＊ビジター紹介 2名 藤原隆宏様(東京神宮RC)/阿世賀陽一様(東京新宿RC)
 ＊ゲスト紹介 3名 佐藤利光様(卓話講師.東京青梅RC)/ブルカエワ.マルジャンさん(米山奨学生)/大塚花子さん(ピアノ奏者)
 出席 27名 欠席 7名 (免除者 1名)
 出席率 81.81% 補正出席率(1/22) 66.67%

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- ① 国際ロータリー第2580地区年次大会が、2月20日・21日に開催されました。皆様のご登録、ご参加を頂き深く感謝申し上げます。又、ガバナー事務所よりお礼状が届いております。
- ② 地区大会の中で、2021-2022年度地区ガバナーが東京麹町ロータリークラブ会員若林英博ガバナーノミネーテジグネートに決まった事を報告します。

◆◆◆ ニコニコBOX報告 ◆◆◆

佐藤利光様より:ニコニコと。
 小林会員:①佐藤利光先生、お忙しい所卓話を有難うございます。②我孫子ゴルフクラブのマッチ杯で優勝しました。
 白石会員:妻の誕生日のお花、有難うございました。
 深谷会員:ニコニコと。
 中島会員:ご無沙汰しております。ニコニコと。

今週の合計 5件 28,006円
 累計 1,818,185円



春のおとぎれ

◆◆◆ 先週の例会より ◆◆◆



Paul Harris Fellow Pin +8. の小林会員



Paul Harris Fellow Pin +6. の古内会員



第11回米山功労者の古内会員



皆出席表彰 7年の萱森会員



1月度ニコニコ大賞の古内会員

◆◆◆ 先週の卓話 ◆◆◆



「ロータリー平和センターの概要」

佐藤利光様

2018-2019 年度 ロータリー平和センター・ホストエリア連絡協議会 統括（東京青梅 RC）

ロータリー平和フェロープログラムとは、一言で申せば、ロータリー財団が実施している「世界平和構築者」のための人材養成プログラムです。

ただ、そこで求められる「平和」という概念は、現に紛争状態にある地域に赴き人道支援を行う実践者が求めている「平和」と、「平和」という空間を構築するためのあらゆる分野の研究等に従事する者が希求するそれと、を含んだ領域をカバーするものです。

そして、その概念を形にするために用意されたものが「ロータリー平和フェロープログラム」です。

そこには二つのコースが準備されています。一つは「修士号取得」コースで「明日の平和構築者」を目指フェローのためのものです。もう一方は既に平和構築の実践者であり、さらなるスキルアップを目指すフェローのためのものです（専門能力開発修了プログラム）。

前者のために世界で五ヶ所の平和センター（日本・オーストラリア・イギリス・スウェーデン・アメリカ）があります。

各センターは毎年 10 名のフェローを受け入れて、概ね 2 年間の研究指導等を提供します。

日本では東京都三鷹市にある国際基督教大学内に設置されています。

後者のセンターはタイに一ヶ所設けられており、50 名（年 2 回 25 名ずつ）を受け入れ、その研修期間は約 3 ヶ月間です。

以上がこのプログラムの目的と概観です。

以下では、日本の国際基督教大学内の平和センターを例にとり、具体的な内容をご紹介します。

毎年選抜されたフェロー（国籍・年齢はまちまち）はその年の 8 月上旬まで来日します。まずは担当のカウンセラー（ロータリアン）と相談しながら、大学近辺に宿舎を求めます。

国際基督教大学（以下「大学」といいます）では 8 月の下旬から日本語の講座が開設され、彼らは日本語の習得に努めます。

大学は 3 学期制（秋・冬・春）で、それぞれの学期で相当厳しい考査があります。

でもフェロー達は暇を見つけて近隣の名所（浅草・上野・新宿・鎌倉・箱根など）を散策しています。1 年生の 3 月には広島研修を体験します（ここでは現地のクラブが支援してくれます）。

2 年生になりますと、修士論文の準備に入り、海外のインターシップ（7 月から 11 月頃まで）などに参加しながら論文の材料を収集します。そして学内の戻り同僚のフェロー達との議論を重ね論文を仕上げていきます。

明けて 5 月末に論文を提出し考査に合格すれば、「修士号」を取得することになります。

そして 6 月に晴れて大学主催の修士論文発表会に登壇し、多くの聴衆の前で成果を披露することになります。選抜された後の 2 年間の苦労が報われる瞬間です。ここにはカウンセラーを始め多くのロータリアンが招かれます。

その後、ロータリアン（ホストエリア連絡協議会）主催の修了パーティーが開かれます。

続いて、このプログラムとロータリアンとの関わり方をお話します。

このプログラム実施のために、この大学がある東京都三鷹市の地区（2750 地区）を中心に近隣の 5 地区（東京 2580・神奈川 2590・2780 千葉 2790 埼玉 2770）で「ホストエリア連絡協議会」が組織されています。

ここで「平和センター」がフェローに提供する各種のサービスについて、ロータリアンがサポートするガイドラインが決まります。

これを受けて各地区から選任されたカウンセラー（各フェローについて 1 名）が具体的な事項についてサポートします。

また、毎年実施される「カウンセラーオリエンテーション」（4 月）、「日本文化交流会」（5 月末）、「年次セミナー」（6 月）などは、この連絡協議会

が担当します。

ロータリー財団では、恒久基金の運用益から「修士号取得プログラム」のために2年間で平均8万ドル、「専門能力開発修了証プログラム」に平均1万1千ドルを拠出しています。

さらに、広島研修旅行をはじめ行事の一部は日本のロータリアン全員からの寄付(年間15円)で賄われています。

最後に、連絡協議会ではこのような「平和構築」と「紛争解決」というロータリーの熱意を形にしたプログラムに一人でも多くの日本人フェローが参加できるように全国34地区に呼びかけています。ご清聴誠にありがとうございました。

* 参考にした資料

- ・「ロータリーの友」2081.11 pp.16-17
- ・ 同 2017.01 pp.24-27
- ・「平和の願いはきっとかなう」(リーフレット)
- ・「ロータリー平和センタープログラム」
(連絡協議会作成 2018 DVD)

例会・親睦のご案内

「第6回 JCNN 合同夜間例会 ～オペラの夕べ～」

日時:3月12日(火)18:00～
会場:ハイアットリージェンシー東京 B1「平安」
会費:会員・ご家族・ご友人 お一人5,000円

「第42回 酒粋会」

日時:3月7日(木)18:00～
会場:阿佐ヶ谷 メンバーズサロン「間」
会費:お一人10,000円(当日支払い)

「第40回 フレンドリー・ グリーンクラブゴルフコンペ」

日時:4月19日(金)集合午前9時(予定)
場所:我孫子ゴルフ倶楽部
千葉県我孫子市岡発戸 1110
会費:10,000円

●● 2018-19年度 地区大会より ●●



—事務局からのお知らせとお願い—

* 例会欠席の場合は、前日までに事務局にご連絡下さい。

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

例会場 ハイアットリージェンシー東京

会長 松林 茂 副会長 萱森 由美

幹事 榛村 浩一 会報委員長 塚本 将之

事務局 〒166-0004

東京都杉並区阿佐ヶ谷南 1-34-6 新東京会館

TEL(03)3312-4959 FAX(03)3312-4958

E-mail: info@tokyocentralpark-rc.com

<http://www.tokyocentralpark-rc.com/>